

地域医療患者支援センター・がん相談支援センターだより

第 31 号 平成 27 年 9 月 8 日

秋田大学医学部附属病院

地域医療患者支援センター 発行

院内図書室開設しました

場 所 外来棟 1 階正面入口から入って左奥
開室時間 月曜日～金曜日
9:00～16:00 (土日・祝日・年末年始を除く)

(11:00～13:00 の間は担当者が在室しています。)

- ・配架図書の紹介
- ・図書選定のアドバイスやがん情報等の検索の仕方
- ・患者会やサロン等の開催場所提供に係る相談等、お手伝をしています

院内図書室は、患者さんおよびご家族等が病気に関する知識を広げ、自由に医学情報を調べるための場所です。

主にがんを中心とした図書、パンフレット等があり、書籍は自由に閲覧可能です。入院患者さんは図書の貸出しが受けられます。一人 2 冊以内、貸出期間は 1 週間です。是非ご利用下さい！！



- ・机は必要に応じて適宜移動可能です。
- ・PCは2台設置。
- ・テレビ、プロジェクター、スクリーン等も備えています。



- ・インターネット接続、DVD の視聴が可能です。
- ・資料等の印刷も 1 回 5 枚程度であれば無料で利用できます。



- ・院内図書室内での飲食・携帯電話の通話をご遠慮ください。
- ・ご利用に際して不明な点等ありましたら、医事課医療サービス室(6039)までご連絡下さい。

「皆さんのご意見・ご要望」より

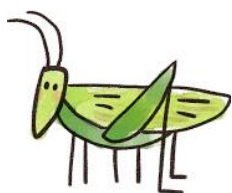


当院をご利用になる皆様の声を一部掲載させていただきます

ケース1：久々の診察に参りました。とても明るく近代的でびっくりいたしました。感じましたこと、

- ①案内板ですが高齢化社会の現代、表示がアルファベットになっていますが番号だけに出来なかったのでしょうか、デパートの案内のように感じました。
- ②旧大学の案内のテーブル3色、美的感覚から考えられたものですか。老人は赤・黄・緑のテーブルの案内が簡単で、説明も簡単だったのにと感じてまいりましたが如何なものでしょうか。

回 答：ご意見をいただきありがとうございます。院内サインにおける各受付のアルファベット表記についてですが、どの階にあるのかを明確にさせるため「1A」「1B」…の表示とさせていただきました。各部屋が番号表記されていることから、こちらと混同しないようにというのも理由の1つです。院内サインは天吊り、突出し、壁付等いくつかございます。特に案内図は交差点の突き当りに設置することを基本とさせていただいております。中央診療部及び病棟への床線が見やすいとお声もごさいますが、上を見て正面を見て下を見る煩雑さという点、下だけ見て歩いてしまうことでの危険性という点から、床線をなくす方向で進めさせていただくこととしております。その分、別の形式での表示を充実させていただく予定ですので、ご理解の程何卒よろしくお願いいたします。また、院内にはスタッフもおりますので、今までどおり、お気軽にお声をかけていただければと思います。



ケース2：身障者トイレが多くあっていいのですが、オムツ交換台も置いてほしい。探して走り回って、受付よりも遠くにあたりして大変です。以前に小児科まで行かないとなかったりしてるので、オムツ交換がもっとあちこちで出来るようにしてほしいです。

回 答：ご意見をいただきありがとうございます。オムツ交換台の充実については、以前からご要望をいただいておりますので、順次増設する方向で進めさせていただいております。

第12回 国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会

第12回国立大学医療連携・退院支援関連部門連絡協議会が、平成27年7月10日（金）～11日（土）浜松で開催されました。

全国42大学から284名、職種は医師・看護師・MSW・心理士・事務職の参加があり、当院からは4名参加しました。

質の高い医療安全と効果的な退院支援を提供するためには、早期支援・早期介入が必須であり、入院前から患者に関する詳細な情報や問題点を把握していくことの重要性を再認識しました。

また、地域連携や退院支援に関する教育や啓発等は、スムーズな業務を遂行するためにも重要とのことでした。

地域連携・退院支援の現状について、他を知ることで自分たちの現状を客観的に見つめることができた貴重な機会となりました。

